

市民公開講座のご案内〔参加費無料〕

私たち三重県保険医協会(県下の医師・歯科医師の保険医約2,000名の団体)は、国民の健康・生命を守ることを運動の柱にしています。今回、下記のように市民公開講座を開催しますので、ぜひご参加ください。参加費は無料ですが、準備の都合上、電話かファックスまたはメールでお申込ください。

主催：三重県保険医協会
共催：(株)グラクソ・スミスクライン
後援：津市教育委員会

講演

最近話題の『子宮頸がん予防ワクチン』って、何？ ～中高生が接種したほうがいいって本当？～

講師 金丸産婦人科院長 金丸 恵子 先生 (津市)

とき 2011年1月16日(日) 13時30分～15時30分(質疑応答含)

場所 三重県教育文化会館6階 多目的ホール

定員 200名

JR・近鉄津駅東口正面から徒歩5分

講師からのメッセージ

2009年12月から、子宮頸がん予防ワクチンが発売され接種できるようになりました。

子宮頸がんは性交経験がある女性なら誰でもなる可能性のある病気です。自分の体を自分で守ることの大切さやワクチン接種の正しい知識を伝えることができればと思います。

子宮がん検診と併せて子宮頸がんの発症を予防しましょう。



参加ご希望の方は、準備の都合上、事前に三重県保険医協会TEL【059-225-1071】or FAX【059-225-1088】or MAIL【doctor@mie-hok.org】でお申込ください。

当日は、下記の参加券も持参いただければ幸いです。

市民公開講座無料参加券

兼 三重県保険医協会へのFAX(059-225-1088)連絡票

1月16日(日) 市民公開講座「最近話題の<子宮頸がん予防ワクチン>って、何？
～中高生が接種したほうがいいって本当？～」に _____ 名参加します。

地区 _____

代表者氏名 _____

子宮けいがん予防ワクチンをご存知ですか？

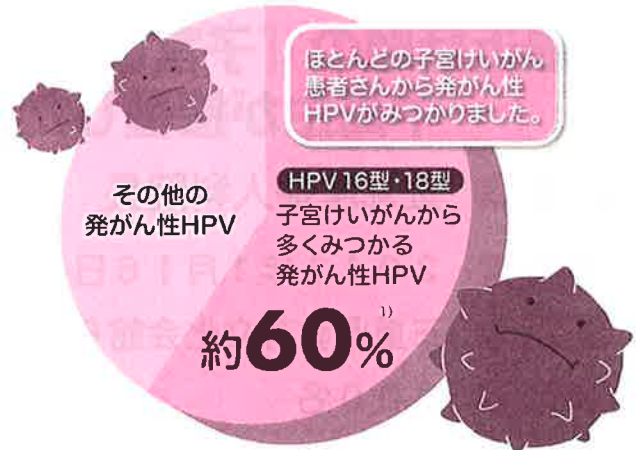
— 子宮けいがんはワクチンと検診で予防できます —



子宮けいがんは、ウイルスが原因！

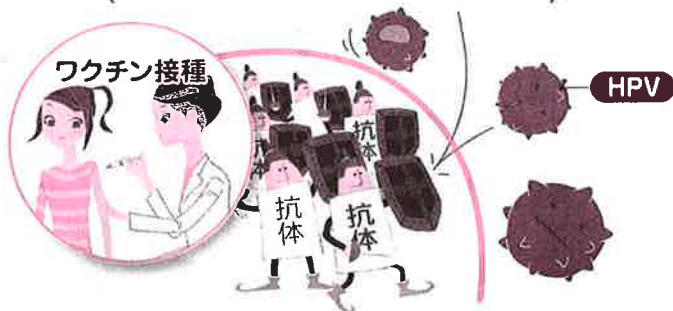
子宮けいがんは、発がん性ヒトパピローマウイルス(HPV)に感染することでかかる病気だといわれています。発がん性HPVは、特別な人だけが感染するのではなく、だれでも感染するありふれたウイルスです。ただし、感染したからといって必ずがんになるわけではなく、子宮けいがんになるのは感染した人のうちの1%未満と考えられています。発がん性HPVのうち、子宮けいがんから多くみつけるタイプはHPV 16型と18型です。

(日本人子宮けいがん患者からみつける発がん性HPV)



1) Onuki M et al.: Cancer Sci 100(7):1312-1316, 2009

(子宮けいがん予防ワクチンの効果)



ワクチンを接種すると、抗体ができます。抗体は、ウイルスと戦って、ウイルスの感染を防ぎます。



HPV 16型と18型の感染予防はワクチンで

子宮けいがん予防ワクチンは、HPV 16型と18型の2つのタイプの発がん性HPVの感染を防ぐことができます。ただし、その他の発がん性HPVの感染は予防できませんし、すでに感染しているウイルスをなくしたり、がんになるのを遅らせたり、子宮けいがんをなおしたりすることはできません。

定期的に子宮けいがん検診を受けましょう

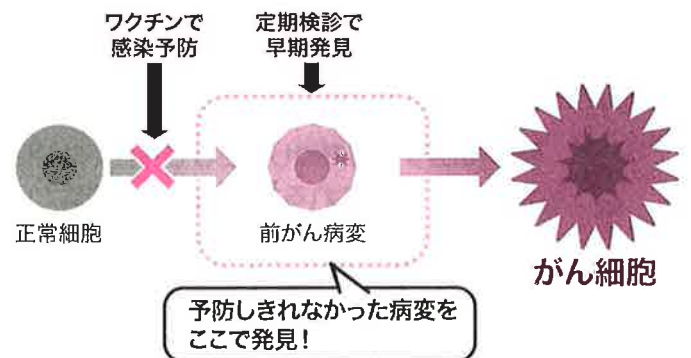
ワクチンで防ぎきれなかった病変を早くみつけて治療するためには、子宮けいがん検診が必要です。子宮けいがんは、がんになるまでに長い時間がかかるため、早くみつければ、がんになる前になおすことができます。

ワクチンの接種と検診で、子宮けいがんからより確実にあなたの体を守りましょう。

※市町村が実施する公的子宮けいがん検診は、20歳以上を対象として2年に1回の受診間隔で実施されます。詳しくは各自治体にお問い合わせください。

※10代の方は公的な検診制度はありません。気になることがありましたら、ワクチンの接種を受けた医療機関にご相談ください。

(ワクチンと検診による子宮けいがん予防)



*前がん病変とは、がんになる前の異常な細胞のことです。

20歳になったら、定期的に子宮けいがん検診を受けましょう！